

【その他健康施策の実績一覧】

2024年10月更新

■健康診断

- ・定期健康診断受診率 : 100% (2023年度)
- ・精密検査受診率 : 89.3% (2023年度)

■メンタルヘルス対策

- ・ストレスチェック受検率

	2020年	2021年	2022年	2023年
対象者数	1533人	1573人	1601人	1618人
受検率(回答率)	91.7%	92.8%	94.4%	95.3%

- ・役職者向けメンタルヘルス研修（ラインケア研修）2023年度

実施回数 6回

参加者数 80 人（延べ）

eラーニング 59人

- ・一般社員向けメンタルヘルス研修

レジリエンス研修（2022） 4回 55人

メンタルタフネスなど eラーニング（2023） 9メニュー 795人

■健康施策関連

- ・ウォーキングイベント

	2022年(春)	2022年(秋)	2023年(春)	2023年(秋)
参加者数	80人	207人	260人	307人

※2023年春参加者満足度調査 満足率75%（N=126）

- ・生活習慣改善イベント

ヘルシー7オリンピック

	2021年	2022年	2023年
参加者数	47人	88人	93人

内（パートナー社員 5人）

- ・朝食欠食率改善イベント

	2023年
参加者数	52人

※セミナー、朝食クッキング、セルフチェック

・睡眠促進イベント

	2023年
参加者数	66人

※寝姿圧測定、セミナー2種、セルフチェックなど

・健康関連の産業医講演 2023年～年2回実施

	2021年	2022年	2023年
参加者数(延べ)	31人	76人	224人
実施回数	1回	1回	2回

※2021年：在宅勤務時の困りごとあるある

2022年：健康診断結果の見方

2023年：ゆらぎ世代のホルモンバランス、仕事への影響と対策(1回目) 131人

2023年：花粉症とアレルギー(2回目) 93人

・健康経営の経営層向け研修 2023年「健康経営の目的と推進の意義」 42人

・「女性の健康」eラーニング (2022年) 参加者数 293名

■業務パフォーマンス指標

	2021年	2022年	2023年
アブセンティーズム	1.2%	1.3%	1.4%
プレゼンティーズム	81.2	81.0	80.8

【測定方法など】

・アブセンティーズム

測定方法：傷病による休業が連続1か月以上となった月平均の全従業員数に占める割合

対象者数：2021年1571人、2022年1568人、2023年1615人

・プレゼンティーズム

測定方法：東大1項目版（0～100%）を用いた従業員調査を実施

数値はパフォーマンス発揮度の全従業員平均

対象者および回答率：上記ストレスチェック受検率を参照

<参考>

・ワークエンゲージメントの測定方法

測定方法：ストレスチェックと同時にワークエンゲージメントを測定、

実測値は偏差値で算出